

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号 114

江戸川区立東小松川小学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差								
学年		第6学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
年度	国語	算数	合計	年度	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和12年度の目標				令和12年度の目標								
令和11年度の目標				令和11年度の目標								
令和10年度の目標				令和10年度の目標								
令和9年度の目標				令和9年度の目標								
令和8年度の目標	-2	-5	-7	令和8年度の目標	-2	-3	-2	-3	2	2	4	-2
令和7年度の結果	-4	-7	-11	令和7年度の結果	-3.2	-4.3	0.3	0.1	3.4	-4.7	-2.6	-1.5
令和6年度の結果	-2	-6	-8	令和6年度の結果	1.7	-3.9	0.8	-1.6	-4.2	-4.3	-3	-3.6
令和5年度の結果	-4	-5	-9	令和5年度の結果								

年度	令和7年度 成果と課題	令和8年度 目標	令和8年度 目標達成に向けた取組
学校全体	<p>【成果】 国語科においては4,5学年では区の平均正答率を上回っている。領域別に見ると特に5学年の知識・技能面では区の平均正答率を4ポイント程度上回る結果となった</p> <p>【課題】 応用問題や記述形式の問題の正答率は著しく低い。定着した知識・技能を活かして思考・表現する能力に課題があることが読み取れる。</p>	<p>○既習漢字の読みは90%以上、書き取りについても80%以上の児童の知識定着を目指す。</p> <p>○YOMUよむワークシート等を活用し、読み取った内容から考えを整理して発表する機会を増やす。</p> <p>○算数科では既習事項の確実な定着を図る。</p>	<p>○漢字指導、算数科の既習事項の確認は毎日少しずつ継続して行うようにし、定着度を向上させる。</p> <p>○YOMUよむワークシートのほか、読書活動を推進することで読書に親しむ児童を増やすとともに読解力を向上させる。</p> <p>○日記、学習感想、調べ学習のまとめなど、児童の思いや考えを書いたり話したりして表現する活動を増やし、相手意識をもって分かりやすく伝える力を向上させる。</p> <p>○算数科では前学年の内容を復習できる機会を設け、スモールステップで苦手意識を克服するとともに既習事項の確実な定着を図る。</p>
第1学年	<p>【成果】 ○10のまとまりを作って大きなかずを数えることができる。</p> <p>【課題】 ○字形が整わない児童が1割程度いる。 ○繰り下がりのあるひき算(減加法・減減法)の理解が不十分な児童が2割程度いる。 ○時計の針の目盛りが読めない児童が2割程度いる。</p>	<p>○整った字を書けるようにする。</p> <p>○全児童が繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算の答えをすぐに答えられるようにする。</p> <p>○日常生活の中で時刻を読むことができる。</p>	<p>○マスの部屋を意識して字を書くように日頃から意識させる。</p> <p>○授業の始めに数分間計算の練習をするとともに、計算のカードの宿題を毎日出す。</p> <p>○1日の生活の中で時刻を意識して読んだり、行動したりする。</p>
第2学年	<p>【成果】 ○音読と丁寧に指導したことで、全児童が語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて読むことができる。</p> <p>【課題】 ○算数科の「学年末の九九テスト」では、1分以内に九九を唱えることができない児童が1割程度いる。 ○自分の考えを簡単な表やグラフを使って、表現できない児童が2割程度いる。</p>	<p>○国語科の授業や家庭学習で言葉集めを行い、語彙を増やす。</p> <p>○全児童が、九九を1分で唱えられるようにする。</p> <p>○算数科では、自分の考えを簡単な表やグラフを使って、表現できるようにする。</p>	<p>○週1回の家庭学習で日記を書くことを組み込んだり、各教科でお世話になった方々に手紙を書くこと計画的に行ったりすることで、思ったことや伝えたいことを明確にして文章を書くことができるようにする。</p> <p>○九九の定着に向けて、家庭と連携したカードを作成し、保護者の協力を得ながら児童が繰り返し練習に取り組むことができるようにする。</p> <p>○九九検定を行い、学校長が認定書を発行する。</p>
第3学年	<p>【成果】 ○朝の会や授業時での自分の考えを小グループで発表する機会をたく設けた事で、「話すこと・聞くこと」は大幅定着してきた。</p> <p>【課題】 ○基礎学力の定着がまだ不安が残る児童が多く、特に算数の「測定」「図形」「数と計算」ではかなり解けない児童がいた。</p>	<p>○既習の漢字や計算(特に九九)を確実に身に着ける。</p> <p>○すぐに答えを写すのではなく、まずは自分の考えや答えを粘り強く考え、できる所までもよいのでノートに書けるようにする。</p> <p>○解き方や学習内容をきちんと理解する。</p> <p>○語彙力を高める。</p>	<p>○基礎学力をしっかりと固められるようにしたい。そのために、計算問題(九九や12年生の復習)を解く時間を計画的にとるようにする。</p> <p>○読めないで解けるようにするために、パズルや数独的な問題にも取り組ませる。</p> <p>○自分の考えを必ずノートに書き、小グループで発表させる機会をたくさん作り慣れていく習慣をつけていく。</p> <p>○読書の時間や読書を広める活動(アニメーション等)を積極的にを行い、タブレットの時間を減らす。</p>
第4学年	<p>【成果】 ○全国学力・学習状況調査の結果から、国語・算数共にA、B層の児童が5割を超え、昨年度と比較するとD層の児童の割合が減った。朝学習や授業の開始5分の時間を活用し、よむYOMUワークシートやプリントに取り組み、読解力や基礎的な計算力の向上を図った。</p> <p>【課題】 ○全国学力・学習状況調査の結果から、国語科「話すこと・聞くこと」、算数科「測定」の得点率が低かった。</p>	<p>○全児童が、「[h]a」「[a]」などの単位を覚える。</p> <p>○算数科では、単位換算をできるようにする。</p> <p>○国語科では、話している人の話をしっかりと聞けるようにする。また、相手に分かりやすく話すために必要な語彙を増やす。</p>	<p>○週1回の家庭学習で、自主学習ノートを活用して苦手単元の克服をできるようにする。</p> <p>○算数の授業の最初に行っている「毎日少しずつ進めるプリント」に単位に関する問題も載せて取り組ませる。</p> <p>○自分の考えを発表する時は、自分の書いた文章を見直し、相手に正しく分かりやすく伝わるかどうか再確認する。</p> <p>○相手の考えや意見を最後までしっかりと聞くことを習慣化していく。</p> <p>○グループ内での話し合いの時間をたくさん作り聞く練習をする機会を増やす。</p>
第5学年	<p>【成果】 ○国語科においては特に説明文においてトピックセンテンスから著者の主張を読み解く活動を通し、要点をつかんで読み進めることができるようになった。学力調査の結果でも特に知識・技能の領域において区の平均を上回った。</p> <p>【課題】 ○算数科では既習事項の定着が不十分である。また、児童によって習熟度に大きな差があることも課題である。 ○応用、発展的な問題の正答率が低く、知識や技能を活用して思考、表現することに課題意識をもつ児童が多いと言える。</p>	<p>○国語科では筆者の主張や登場人物の心情を適切に読み取り、自分の思いや考えを表現する力を養う。</p> <p>○算数科では既習事項の確実な定着を図り、基礎学力の向上を目指す。特に割合については図を活用するなどして二つの数量の関係から立式の根拠を明らかにして計算をすることができるようにする。</p>	<p>○YOMUよむワークシートを活用して読解力を養うとともに読書活動を推進することで読み取りの制度を上げるとともに読書に親しむ態度を涵養する。</p> <p>○算数科においては全学年までの既習事項を復習する時間を確保し、着実な定着を図る。</p> <p>○立式の前に図に表すなど、立式の根拠を明示する活動を通し、問題の場面と計算の方法を筋道立てて考え、表現する力を養う。</p>
第6学年	<p>【成果】 ○国語科においては、話的な活動を継続的に行ってきたことにより、話すこと聞くこと正答率が向上した。B層、C層の中間層が減少し、上位層であるA層が増加した。 ○基礎基本の徹底を行うことにより、昨年度に比べて2.8ポイント向上した。</p> <p>【課題】 ○算数科では応用問題や文章問題の正答率が低く、正確に読み取りができていないことが課題である。</p>	<p>○国語科では自分の意見を相手に伝える力を養う。</p> <p>○語彙量を増やす。</p> <p>○算数科では既習事項の確実な定着を図り、基礎学力の向上を目指す。また、四則計算や通分、約分を素早く正確に行うことができるようにする。</p>	<p>○本を読む時間を年間を通して継続的にとり、読書に慣れ親しむことで読解力、語彙力を高める。</p> <p>○ペアワークやグループワークを積極的に導入し、自分の意見を相手に伝える力を養う。</p> <p>○算数の時間の最初に、四則計算や前年度の学習内容を振り返る時間をとり、既習事項の定着を図る。</p> <p>○一つの解法だけでなく様々な解法を考えることで表現する力を養う。</p>